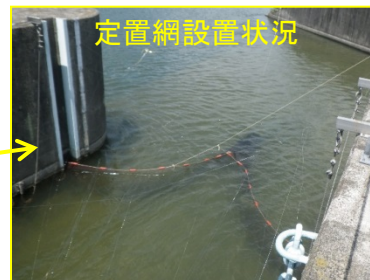


高瀬堰からのお知らせ(第15号)

平成30年度 高瀬堰魚道における遡上調査結果について(速報)

- 高瀬堰の魚道において、河口からのぼってくるアユを中心に、魚やカニの遡上状況を調査しました。
調査期間:平成30年4月23日～6月8日(4月下旬に2回。その後は2週間毎に4回、計6回)
調査時間:6時間/調査回(平成27～29年度は24時間/調査回でした。)
- 計6回の調査で、12種555個体(うちアユ299尾)の遡上が確認されました。
- アユやウグイのほか、オオヨシノボリ、スジエビ、モクズガニ等が確認されました。
- アユは、計6回の調査のうち、4月27日(第2回調査)に最も多く、魚道を遡上しました。



- ✓ 魚道の上流端に、定置網を12時から18時まで設置して、遡上してくる魚類等を捕獲しました。
- ✓ 魚道の利用状況を調査するため、水中ビデオでの撮影を行いました。

■確認された種



魚道内のアユ



魚道の壁を移動するモクズガニ



ウグイ

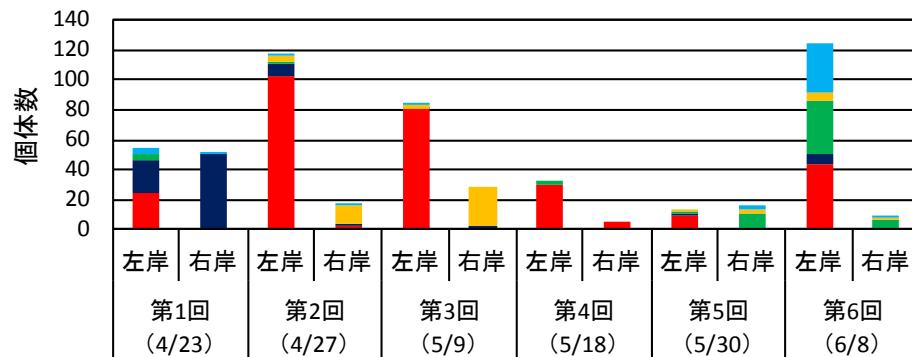


オオヨシノボリ



スジエビ

■調査結果



■アユ ■その他遊泳魚 ■底生魚 ■スジエビ ■モクズガニ

(その他遊泳魚・底生魚に含まれる魚種)

■オイカワ、カワムツ、ウグイ、ニゴイ属

■カマツカ、カワヨシノボリ、シマヨシノボリ、オオヨシノボリ